

あすなるだより 第18号
 平成17年12月15日発行
 社会福祉法人 松園福祉会
 特別養護老人ホームあすなる園 家族会
 倉敷市玉島勇崎1,044番地
 電話 086-528-3110
 FAX 086-528-3255
 ホームページ http://www.asunaro.or.jp
 E-mail info-a@asunaro.or.jp



語らいがある。
 友がいる。
 ゆったりとした安らぎの中に
 いきいきとした幸せがある。
 まわりの人の温かい思いやりや
 いくつかの心の心がある。
 お一人おひとりの幸せのために
 私たちはつくします。

**あすなる園家族会
 会長 原田 徹雄**

平成三年の開園以来十五年
 目の年を迎えられ心よりお慶
 び申し上げます。
 入所家族の笑い声とやすら
 かな顔を見るたびにこれも職
 員地域の皆様、関係ご各位の
 お陰様と思っております。
 一昨年以来、理事長以下「高
 齢者の尊厳」を重視され、ブラ
 イバシーに配慮した排泄ケア、
 個別食事の検討や入浴設備の
 導入、在宅時の馴染みの生活
 用品の居室内持ち込み、そし
 て台風や高潮対策、救急救命
 スタッフ常駐施設の認定など
 常に質の高い取り組みが行わ
 れております。
 家族会では昨年、家族の心
 構えや各種行事の進め方をわ
 かりやすく「家族会ハンドブ
 ック」としてまとめました。今
 年度は、面会、奉仕、清掃活動
 はもとより、ケアプラン、ケ
 ー記録を活用し日常生活や健
 康状況の理解を深めることも
 必要だと思えます。
 『和顔心』を合い言葉にたゆ
 まぬ努力をされている園の方々
 と協働して『しあわせの里』を
 創造して参りたいと思えます。

表彰おめでとう

**倉敷市防火協会より
 優良事業所表彰受ける**

四月二十二日、倉敷市防火協会
 玉島支部総会が玉島消防署で開
 催された。
 席上あすなる園が今年度、優良
 事業所として表彰された。これは
 施設整備が適正に行われ、その維
 持管理が他の模範となると認め
 られたもの。

**中国地区大会で
 職員六名表彰される**

長年にわたり、施設職員と
 して職務に精励したとして、
 九月一日、松江市で開催され
 た第三十七回中国地区老人
 福祉施設研修大会で、あすな
 る園職員六名が表彰された。
 中国地区老人福祉施設協
 議会々長表彰を受けたのは
 次の方々です。
 園長虫明正雄 事務員木
 原尚美 寮母長山川政子
 栄養士小寺真喜枝 ケアマ
 ネジャー原田スズ子 生活
 支援員只野賢
 この日の大会であすなる
 園介護職員の西井紀美子、井
 上貴子の二人が分科会で「尊
 厳ある排泄介助」と題して
 発表を行った。

**玉島まつり
 ハーバードダンスで
 息きぴったり準優勝**

八月六日玉島まつり 復活ハ
 ーバードダンス in 玉島 No.1 にあす
 なる園職員有志が今年も出場。き
 れいな手づくり衣装に身をつつみ
 リズムに合わせてパフォーマンス
 を展開。
 見事準優勝。賞金十万円を手に
 した。



▲準優勝賞金10万円を手によろこぶあすなるダンシングチーム
 ▲きれいな衣装でパフォーマンス

**安全・安心施設のために
 救マーク受ける**

倉敷市では昨年、普通救命
 講習を受講した社員が常駐して
 いる事業所を認定する事業を開
 始した。あすなる園では今年六月、
 十五名の職員が受講。救マークを
 受けた。更に十月にも十名が受講
 すでに取得している職員合わせ
 て現在二十六名の職員が普通救
 命資格を持っており、万一の時に
 備えて訓練を続けている。



**消火技術訓練大会で
 入賞**

十月七日、第十七回倉敷市消防
 局主催の消火技術訓練大会が行
 われ、あすなる園でも、消火器消
 火技術の部へ、男女二チームが入
 賞した。

**ポランティア
 ありがとうございます**

- 平成17年11月1日より
 平成17年11月30日まで (順不同)
- | | | | |
|----------|----------|---------|---------|
| 桑名 純朗様 | 他 八名 | 中山 玲子様 | 玉島民謡同好会 |
| 王子宗昌社中竹中 | 藤本春正様 | 他 | |
| 和子様 | 他十三名 | 二 | 十一名 |
| みやこ会堀勝山 | 山本 和子様 | | |
| 様 | 他十四名 | 堀江美栄子様 | |
| 三上久潤社中松 | すみれ会国富佳 | | |
| 原久潤様 | 他三名 | | |
| おね劇団小原 | 子様 | 他二十一名 | |
| お義様 | 他八名 | 末吉 和子様 | |
| カラオケ『和』下 | 中村伊久代様 | | |
| 川和子様 | 他十名 | 西 伊久代様 | |
| 寿会岡野嘉明様 | 宗塚 敏子様 | | |
| 他 | 八名 | 上野三登里様 | |
| いきいきサロン | 三宅 久美子様 | | |
| 弥生町船曳美佐 | 山本 晶山様 | | |
| 子様 | 他十名 | 山本 晶山様 | |
| 笠岡愛の善意銀 | 渡辺 美津子様 | | |
| 行井和武彦様 | 他 | 白神 美津子様 | |
| 十 | 二名 | 難波 勢子様 | |
| エルザウイーンズ | 名 | 津 美津子様 | |
| 谷田由紀様 | 他三名 | 守谷 芳恵様 | |
| NAK日本アマ | 板谷 芳恵様 | | |
| チュア歌謡連盟 | タンポポ座根木 | | |
| 倉敷支部林道弘 | 晴美様 | 他八名 | |
| 様 | 他十一名 | 夏まつりポラン | |
| 楽団シルバース | 虹のキャラバン | | |
| タイ服部金太郎 | 根本美希・藤川準 | | |
| 平尾 巧様 | 他 二名 | | |
| 歌舞の会坪井の | 西山 寿男様 | | |
| り子様 | 他五名 | 白神 和正様 | |
| 銭太鼓手まり会林 | 岡山県西部ヤク | | |
| すみこ様 | 他十四名 | 須江 玉美様 | |
| 藤原力ラオケ藤原 | 白神由佳理様 | | |
| 敏博様 | 他十一名 | あすなる園家族 | |
| ダスキン倉敷渡 | 会 | | |
| 邊直治様 | 他 | | |
| 二十 | 一名 | | |
| 萬一毛工ミ子 | | | |

ご寄付御礼

左記の方々から、社会福祉
 法人松園福祉会に金一封の
 ご寄付がありました。心から
 お礼申し上げます
 平成17年1月1日より
 平成17年11月30日まで (順不同)

片山 淑子様	中 原 榎子様	渡 辺 茂雄様	高 見 芳夫様	富 々 絹子様	佐 々 木 善計様	濱 野 正理様	岡 部 善一様	森 井 良理様	小 野 智恵様	石 原 忠彦様	白 藤 智恵様	中 藤 照子様	安 原 照子様	玉島西公民館人権学	推 進 委員会	藤 原 暁子様
--------	---------	---------	---------	---------	-----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-----------	---------	---------

編集・文責
 園長・虫明正雄

認知症介護はつらくない

現在、国では、認知症の方が安心して、その人らしく暮らしていただけることを支援する為に「認知症介護実践者研修」を都道府県・政令市レベルで展開している。この研修は、施設等の実務者に対し研修していくもので「基礎課程」から「リーダー研修(専門課程)」へと展開していくものです。

あすなる園が研修施設

あすなる園も平成十五年から「リーダー研修」の現場実習を受け入れていますが、本年は、リーダー研修「施設ケア改善コース」のカリキュラム全体の委託を受け、全体で半年間に亘る十一日間のカリキュラム作成から実施までの管理を行っている。研修生は、皆さん、何らかの施設やグループホームの実務者ばかりです。我々も

教えるという立場ではなく、講義・演習・実習を通して「認知症ケア」に対する「気付き」を得て頂けるよう意識をしています。

このような活動を通じ、一人でも多くの方が認知症の理解を深め、一日一日と認知症ケアが向上され、「認知症であっても安心して暮らしていただける地域づくり」をめざしている。

介護予防を重視

可能な限り在宅で、しかも住みなれた地域の中で暮らせるために、そして要支援・要介護状態になる前からの介護予防を推進するところから、地域における包括的・継続的なマネジメント機能を強化する観点から、国は、平成十八年度から二十年度までに全国で地域包括支援センターを創設することを決めた。これは増えつつある介護保険給付に歯止めをかけ、安定した介護保険が運営できることをねらったものである。

その事業内容は、一、介護予防事業、二、包括的支援事業、三、任意事業からなる。介護予防事業では、介護予防スクリーニングの実施、要支援・要介護になるおそれの高い人等を対象とした介護

平成十八年度から一園が計画 地域包括支援センター創設

予防サービスの提供。高齢者を対象とした介護予防事業がある。包括的支援事業は、介護予防ケアマネジメント。総合相談支援事業(地域高齢者の実態把握、介護以外の生活支援サービスとの調整等)。権利擁護事業(虐待防止、虐待の早期発見等)。包括的・継続的マネジメント事業は(支援困難事例に関するケアマネジャーへの助言、地域ケアマネジャーのネットワークづくり等)。任意事業は、介護給付費等適正化事業、家族介護支援事業等がある。

これらのうち、介護予防事業と任意事業については、市町村または在宅介護支援センターその他の委託することができ、現在倉敷市でもその準備を進めており、平成十八年四月には、お目見えすることになる。

毎月第2日曜日は家族会の日

あすなる園開園以来続いている家族会日は、毎月第二日曜日午前中に開催されている。この日は、午前十時頃から家族が揃って来園。入園者としてしばしの団欒。その後園内の奉仕作業。平素できていないエアコンのフィルター清掃やペランダの清掃に汗を流す。またケアプランやケース記録に目を通し、承認の印を押す。十一時には全員が集まり、園での生活の様子や、家族会の相談をする。また月二回のふれあい喫茶(食堂を

面会に入園者は大喜び!!



高速洗浄機でフィルターを洗う家族会

喫茶店に模様替え)では、当番家族がコーヒーや紅茶を出したり、ウェイトレスを手伝う。今年度十一月までの平均出席者数は、五十一家族六十八人です。なお面会は、いつでもできますので自由にご来園下さい。

全国から3800人が集う

十一月十六日・十七日仙台市で平成十七年度全国老人福祉施設研究会が、全国から三三〇〇人が参加して開催された。テーマは「尊厳と安心ケアの確立に向けて」と題して熱心な討議がされた。あすなる園からは四名が参加。研究発表では、中塚周一副園長が「寄りそいから見えてくる利用者本人の生活課題。」井ノ上晃彦主任が、「利用者の思い・願いを感じるために」と題して発表した。会場から熱心な質問や意見交換があり、盛んな拍手を浴びた。

あすなる園在宅介護支援センター 相談協力員は次の方々です。

- 山本良恵 玉島勇崎 700
 - 國富佳子 玉島勇崎 810-2
 - 貴名美子 玉島黒崎 2997
 - 若狭 収 玉島黒崎 7441-1
 - 藤澤孝江 玉島黒崎 3453
 - 高見英美 玉島黒崎 2445
 - 赤澤蓉子 玉島黒崎 5471
 - 諏沢行雄 玉島黒崎 8178
 - 野田和男 玉島勇崎 357
 - 畑 算悟 玉島柏島 5392
 - 山本 彰 玉島柏島 3981-10
 - 中塚 護 玉島柏島 3506
 - 白神美子 玉島黒崎 3267-13
 - 岡部 智 玉島黒崎 3373-20
 - 加藤武志 玉島黒崎 5127
 - 西山寿男 玉島勇崎 1377
 - 原田正彌 玉島黒崎 8123
- <敬称略順不同>

地域ボランティアなどでにぎわう

十一月三日、恒例のあすなる園文化祭が盛大に開催された。午前九時から、阿弥陀堂では入園物故者の合同慰霊祭が、安養院森川住職の読経で、しめやかに営まれた。

特別出演として、玉島民謡同好会、若柳静寿恵会様による民謡のステージが繰り広げられた。展示コーナーでは、入園者やデイ利用者の書道や手芸品が展示され、来園者は熱心に見入っていた。喫茶コーナーでは、しるこ、甘酒、コーヒー、などが用意され、ディスプレイセンターでは、お茶席コーナーも設けられた。

あすなる園文化祭



▲「あすなる園の発展は、皆様のおかげ。」とあいさつする中塚正人理事長

第14回創立記念 文化祭盛大に開催される



▲ボランティアによる民謡総踊り



▲10年勤続職員表彰



▲お茶席コーナーは華やいだ雰囲気

いつまでもおたっしやで敬老祝賀式

九月十九日、第十四回あすなる園敬老祝賀式が、関係者多数出席により盛大に開催された。理事長のあいさつのあと、入園者に記念品が贈られ、乾杯をして祝った。

また入園者代表がくす玉を割り、「いつまでもおたっしやで」の掛け幕が出ると、一斉に拍手がわいた。



▶くす玉割りをする白寿中塚千代様

交流事業、楽団シルバースターのなつメロ演奏が繰り広げられ、楽しいひと時を過ごした。また昼食会は、鯛の活け造りに祝い膳で舌つづみを打った。



▲理事長より記念品を受ける入園者



▲ナツメロ演奏の楽団シルバースター

生活グラフ おでかけで気分さわやか

より豊かな生活のために

生活に変化と潤いを持っていただくため、季節ごとに外出を行っている。春は花見、夏は沙美海岸、秋は吉備路にと外食を兼ねて各地へ出かけている。



▲外食で舌つづみ



▲チボリ公園で楽しむ



花見を楽しむ



毎月の誕生会に
ボランティア演芸来園



▲毎年開催する八幡保育園児とミニ運動会



地域との交流で温かいふれあい

多くの人達でにぎわう夏まつり



地区秋まつりには地元子ども会が来園



夜店を楽しむ入園者



あすなる園 生活グラフ 2005

プロ歌手が入園者一人ひとりに握手



十月二十八日、社団法人虹の会(理事長アントニオ・古賀)の全国ツアーが、あすなる園に来園。歌手の根本美希さん、藤川準さんの二人が入園者やデイ利用者の前で歌謡ショーを展開。素晴らしい声に会場は盛り上がり、拍手が鳴りひびいた。虹の会は、全国の芸能人のボランティア団体で、昭和五十四年に結成。藤山一郎、二葉あき子、玉置宏、渚ゆう子、水前寺清子など有名な歌手や文化人が加入。全国の高齢者施設をボランティアで訪問。高齢者を元気づけている。

元気“お届け集団” 虹のキャラバン来園

この日、午前十時から、二階ホールで、民謡歌手根本美希さんと若手売出し中の男性演歌歌手藤川準さんが登場すると、会場から大きな拍手。根本美希さんが『皆さんお元気ですか』と声をかけると、『ハイッ』と大きな声。民謡で培ったこぶしをきかせたノドで歌うと、会場から



▲入園者と一緒に歌う根本美希さん



▲一人ひとりに握手する藤川 準さん

「うめーなー」と感嘆の声。根本さんは会場の一人ひとりと握手しながら歌い、ベッドで寝たまま見ている入園者にも顔を触らせてさわやかな熱唱。見ている人の胸を打つ場面があった。藤川準さんは、今トッパスタアの

フロアごとに おやつ作り

季節の行事や、園庭で採れた野菜を使っておやつづくりが盛んに行われている。より豊かな生活、機能の維持を目的に行われるもので、入園者が麻痺した手を一所懸命動かして、クッキーやスイートポテト、おはぎ等を作っている。自分で作ったおやつは「特別おいしい」とニッコリ。



▲手づくりおやつはおいしいね



▲園庭でイモの収穫



フェイスクアで笑顔満開



女性はいつまでも美しくありたいし、若々しくいて欲しい。



▲エステを受けうっとりする入園者



お肌すべすべニコリ。



美しく輝いて欲しい。

いきいきライフ

六月から、高齢者にもフェイスクアで美しく若々しく生活していただくとうと、毎月一〜二回フェイスクアに取り組んでいる。ヤクルト化粧品から、二人のエスティシャンがボランティアで来園。入園者のお顔のケアを行っている。

とその心地よさに満足。次々と希望者が増えてきた。一〇三才になるある入園者もこれにはまり、家族に『家から化粧品を持って来てくれ』と頼んだとのこと。

自分の作品が展示されているのを見て

あすなろ園では、入園者のクラブ活動の一環として、書道クラブがあり、趣味と、手のリハビリのために毎週一回硬筆や書道を行っている。また絵の好きな人は自分で描いて、廊下等へ展示している。今年も、全国ふれあい書道展(広島県熊野町等主催)に出品。入選、努力賞を受賞している。また、九月二十一日から倉敷市立美術館で、シルバー作品展が開催された。これにもあすなろ園から、入園者やデイサービス利用者が出品した。



▲自分たちの作品を見てニコリ

「シルバー作品展を見に行つて」赤沢千枝子

入園者

九月二十二日、倉敷市立美術館へ、自分の作品が出ているから見に行こうと誘われて行った。あすなろ園から五人が絵や書を出していた。立派な作品がいっぱいある。般若心経を米粒ほどの細い字で書いてるのを感じる。自分には何も出来ない事を知ったのだ。九十才を越えてもう何が出来るかしみじみ思い知らされた。しかし出来ることはやはりやるのが人間一生の内だ。やつて見よう。明日も書こう。

福祉先進国 北欧三国を訪ねて

あすなろ園園長 虫明 正雄



▲異国からの訪問を受け、抱きすくめて喜ぶ入居者(中)

フィンランド・スウェーデン・デンマークの福祉情勢研修十日間の旅に参加する幸せを得た。十一月十七日、岡山県民間社会福祉従事者育成制度による、海外研修事業一行三十一名は一路フィンランドへ飛んだ。北欧三国の共通点は、自由と平等、個人尊重が徹底しており、高福祉、高負担。そして個人資産は少ないが、老後は全て国が保障してくれるという安心感が強く、国民の政治、行政に対する信頼感が厚い。高齢化率も日本に近いし、

少子化も進んでいる。まず、ヘルシンキハイテクセンターで、フィンランドの福祉概要について講義を受けた。そして、保育・児童、障害者、高齢者施設の三グループに分かれ、施設の視察を行った。「フィンランドで高齢者福祉の

手本を見た」私は高齢者福祉施設を訪問。こは今正に、日本が進めている小規模多機能地域密着型施設のモデルといえる所であった。老人住宅を中心にして、デイサービス、ショートステイ、ホームヘルプ、レストラン、配食、フィットネス、理美容店と、地域の高齢者のニーズに合わせたサービス提供基地となつて



▲市長から2時間レクチャーを受ける研修団一行

「福祉大園スウェーデン」ストックホルムでは、市庁舎(ノベル賞授賞式の晩餐会場)で、女性市議員の一人から、福祉行政についてレクチャーを受けた。この国は女性の職場進出が進み、市議会議員の半数は女性である。女性が働きながら子育てができる施策が早くからとられ、少子化に歯止めがかかっている。高齢者対策では、二十年前に特

の二つを見学する。バス、トイレ、キッチンに大きな居室が二部屋。白い部屋の中には、古い重厚な家具や、新しいデザイン家具がある。住人の女性は私達を笑顔で迎えてくれた。明るい衣装に薄化粧で、ゆつくりと紅茶を飲んでる姿は、豊かな気品を感じた。「福祉大園スウェーデン」ある施設を訪問した。九十六人の個室ユニットで内三十二人が認知症のグループホーム。多機能施設で特筆は瀟洒なレストラン(民間委託)がある。ここは地域の高齢者も自由に利用できるもの。メニューは少ないし、料理も豪華ではないが、ホテルのような雰囲気の中で、近所の高齢者が静かに食事を取っていた。温水プールにサウナが完備。翌日、福祉が進んでいるという市長自らが出迎えてくれ、約二時間「市勢と福祉」について議会議場で講義してくれたのには感激した。ここでもすでに「施設」という概念がなく、「住宅」ともなっている。現在高齢者住宅の建設が最重要課題として進められていた。高福祉・高負担・市民は収入の三〇％を税金として収め、高所得者は四〇％もの高い税金に裏打ちされた福祉である。市議会議員は、給与が安く、全員兼業である。そして政治はオープン。国民との信頼関係がある。スウェーデンの王宮を見学する機会を得た。カール・グスタフ十六世国王が現在も執務に使っている所である。十八世紀の建物で、部屋数六百以上。中には博物館等もある。宮廷の二階の窓から庭を見ると、薄雪で化粧された絵のようなロケーションに、私は思

わす惜しみなくシャッターを切った。「国民平均税率五〇％デンマークの高品質福祉」この国は特に障害者に対する施策が進んでおり、リハビリ機器や家具のレベルが高い。この国でも、親子孫が同居する例はほとんどなく、独立した生活をしているが、家族のきずなが薄いことはないという。障害者も医者も、肉体労働者も収入はあまり変わらない。国や自治体が全て保障してくれるので安心感があると説明を受ける。GDPの十五％が社会福祉関連に支出されるなど高品質の福祉サービスが提供されつつある。ある高齢者福祉センターを見た。老人住宅の中に、デイセンターがある。体操や陶芸、絵画、織物などのアクティビティだけでなく、美容室、各種セラピーなどの在宅サービスが充実。日本の天皇、皇后両陛下が視察された場所という。人口は、スウェーデン九百万人、デンマーク五四〇万人と少なく日本のそれや経済状況等の国情を考えると、北欧の福祉と日本が同じ道を歩むことは考えられない。しかし施設の概念がなくなる方向へは進んでいることは間違いない。コペンハーゲンで、夜の本家チボリ公園を見ることができた。幻想的な光のプロムナードを歩くとしばし時を忘れた。

趣味を活かし 絵や書に挑戦

いきいきがいけん

九月二十二日には、入園者が作品展を見学。自分の作品を見てニコリ。帰りには喫茶店でコーヒーを楽しみながら談笑した。